
大戦略 東アジアの暴走

白米

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大戦略 東アジアの暴走

【Nコード】

N1799Y

【作者名】

白米

【あらすじ】

祖国統一の大儀を上げ、K民国第一師団は休戦ラインを超え、N K人民軍に対し奇襲をかけた。

第二次朝鮮戦争の火蓋が切られてしまった。

ワイルドギース（後の連合軍）

JP国軍（日本軍） J a p A nでJP国軍となる

A合衆国軍（アメリカ合衆国軍） A m e r i c aでA合衆国軍となる

RS軍（ロシア軍） R u S s i aでRS軍となる

C N 国（中国人民解放軍）C h i N a で C N 軍となる

K R 民国軍（韓国軍）K o R e a で K R となる

N K 人民軍（朝鮮人民軍）N o r t h K o r e a で N K となる

暴発の代償 プロローグ1

時は現代、朝鮮半島では北朝鮮、南朝鮮でのにらみ合いが続いていた。

そんな中、20XX年。突如、韓国軍の第一師団が38度線に奇襲を掛け、警備中の朝鮮軍との戦闘状態に入り、朝鮮半島での火蓋が切られてしまった。

後の第二次朝鮮戦争の開戦である。

ワイルドギース、後の連合軍は・・・

「我々の任務は空挺第三部隊の拠点となる、朝鮮半島の南西にある司令部を制圧、もしくは国境線に在留する韓国軍の第一師団を殲滅することである。JP国軍（自衛隊）、A合衆国軍^{アメリカ}RS軍^{ロシア}CN軍（中国）、KR民国軍（韓国）は合同でこの任務を開始する」

緑と黒が混じった名声服を身に着けたワイルドギース（連合軍）の司令官は指示を出し、ワイルドギース軍は奇襲を掛けた、第一師団迎撃体制に入った。

暴発の代償プロログ2（前書き）

プロログ1の後編です。

むしろ、感想が来ないのが寂しいです

暴発の代償プロローグ2

国境線付近で戦闘を続ける、K民国軍とK民国軍第一師団、そしてNK人民軍。

暴走を止めるべく、ワイルドギース軍はK民国軍とNK人民軍と合同で第一師団の暴走阻止に入った。

「K民国第一師団がこっちに向かってくる！司令部を防衛せよ！」
NK人民軍兵士が言う。

「自足砲、発射！」

ダウン！ダウン！ダウン！

空高く放たれた、自足砲弾は、地上に命中し砂埃を上げた。

一方、そのころWD（ワイルドギース、後の連合軍）軍は橋の上で銃撃戦が行われていた。

ガガガガガ！ドドドド！

「グワァァ！」

「ウギヤー！」

寄声を上げる者も居れば、うめき声を上げる兵士も居る。

「12時方向に目標！、第一師団は中々手ごわいぞ！」

JP国歩兵が射撃をしながら言う

爆音を上げ、橋の上を渡る黒と緑、茶色の混成の迷彩と奏された74式戦車が主砲をゆっくり一時方向に向け、

ドゴン！

主砲を放った。

「よし、第一師団の小隊を蹴散らした。こちらJP国軍の中川だ。

A合衆国軍、応答してくれ」

『中村か。こちらはK民国軍と同様に司令部前を制圧。シールズが先ほど司令部内部を制圧開始した。』

国連軍の旗が揚がるまで在留部隊を掃射せよ』

「了解、A合衆国軍小隊長」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1799y/>

大戦略 東アジアの暴走

2011年11月13日13時21分発行